TAC建築士講座

# 設 計 課 題 「景勝地に建つ土間スペースのある週末住宅(木造2階建て)」

# 1. 設計条件

ある地方都市郊外の景勝地において、夫婦の趣味(家庭菜園)を楽しむため、かつ地元住 民との交流を深めることを目的とした、土間スペースのある週末住宅を計画する。 計画に当たっては、次の①~⑤に特に留意する。

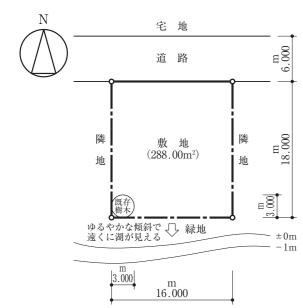
①土間スペースは、玄関を兼ねるものとし、家族と地元住民が集う場として、また菜園 で採れたハーブや野菜等を使った食事会等を楽しむため、まとまったスペースとする。 ②1階部分の各要求室(土間スペース及び浴室を除く。)の床高は、地盤面から500mm以上

③土間スペースからは、敷地内の既存樹木が眺められるようにするとともに、1階・2 階の主要な居室は、南側の眺望に配慮した計画とする。 ④菜園は、デッキテラスに近接して設ける。

⑤建築物の耐震性を確保する。

#### (1) 敷 地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、下図のとおりである。 イ. 用途地域その他の指定はない。
- ウ. 建ペい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
- エ. 地形について敷地の南側の緑地は南下がりに傾斜しているが、当該敷地は平たんで、 道路、東西隣地との高低差はない。また、地盤は良好である。
- オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。



(注) 既存樹木(枝張り3.0m) は、既存の位置に保存するもの とし、この部分には建築物は計画してはならない。

### 図-1 敷地図(縮尺:1/500)

# (2) 構造、階数及び建築物の高さ

ア. 木造2階建とする。

ないものとする。)

イ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは7m以下とする。

# (3) 延べ面積

必ず「140㎡以上、180㎡以下」とする。 (床面積については、ピロティ、玄関ポーチ、デッキテラス、駐車スペース等は算入し

## (4) 家族構成

夫婦(40歳代)、子ども2人(女子小学生)

下表のすべての室は、必ず指定された設置階に計画する。

| 設置階    | 室 名       | 特 記 事 項   | 床 面 積                         |
|--------|-----------|---|-------------------------------|
| KER .  | 土間スペース    | ア. 玄関を兼ね、まとまったスペース(少なくとも直径3.0mの円が1つ入るスペース)とする。 イ. 下足入れを設ける。 ウ. 地域住民や家族が集い、菜園で採れたハーブや野菜等を使って食事会を開いたり、菜園作業の休憩・用具保管等に利用する。 エ. 和室と隣接させ、直接行き来できるようにする。 オ. 天井高は、3.0m以上とする。 カ. テーブル(いす6席)を1卓設ける。 キ. ミニキッチン(600mm×900mm)を設ける。 | 19㎡以上                         |
| 1      | 土間用倉庫     | ア. 菜園で使う用具等を保管する。<br>イ. 土間スペースから利用できるようにする。   | 3 ㎡以上                         |
| 1階     | 居間·食事室·台所 | <ul><li>ア. 2階への階段を設ける。</li><li>イ. 1室にまとめる。</li><li>ウ. 台所部分は広めの計画(9㎡以上)とし、家事コーナーを設ける。</li><li>エ. P C コーナーを設ける。</li></ul>   | 33㎡以上<br>(階段部分<br>を含む)        |
|        | 和 室       | <ul><li>ア. 押入れを設ける。</li><li>イ. 来客の宿泊用としても利用する。</li><li>ウ. 土間スペースと直接行き来できるようにする。</li></ul>   | 8畳<br>(押入れを除く)                |
|        | 洗面脱衣室(1)  | ア. 来客用としても利用する。<br>イ. 広さは、心々1,820mm×2,275mm以上とする。   | 4 ㎡以上                         |
|        | 浴 室 (1)   | ア. 来客用としても利用する。<br>イ. 広さは、心々1,820mm×2,275mm以上とする。   | 4 ㎡以上                         |
|        | 便 所 (1)   | ・広さは、心々1,820mm×1,820mm以上とする。  | 適宜                            |
| 2<br>階 | 夫婦寝室      | ・洋室とし、ベッド(計2台)、ウォークインクロゼット(3㎡以上)を設ける。   | 16㎡以上<br>(ウォークインクロ<br>ゼットを除く) |
|        | 子ども室      | ア.子ども2人が使用する。<br>イ.洋室とし、ベッド(計2台)、収納を設ける。  | 9 ㎡以上<br>(収納を除く)              |
|        | 洗面脱衣室(2)  |   |                               |
| 111    |           |   | 1                             |
| 111    | 浴室(2)     |   | 適宜                            |
| 111    |           |   | 適宜                            |

### (6) 屋外施設等

民州に下丰の人のを計画する

| <b>産外に下衣のものを計画する。</b> |   |  |
|-----------------------|---|--|
| デッキテラス                | ア. 15㎡以上のまとまったスペース(少なくとも、直径1.5m以上の円が1つ入るスペース)とし、バーベキューなどにも使用する。 |  |
|                       | イ. 景観の良い位置に配置し、居間・食事室・台所及び土間スペース<br>からも、直接行き来できるようにする。          |  |
|                       | ウ. 安全に配慮し、手すりを設ける。  |  |
| 菜    園                | ア. 20㎡以上とし、まとまったスペース(少なくとも、直径2.5m以上<br>の円が1つ入るスペース)とする。         |  |
|                       | イ. 菜園に近接して洗い場を設ける。  |  |
| 駐車スペース                | ・1台分の駐車スペースを設ける。  |  |

# 2. 要求図書

| (1/100) イ. 建築物の外形、床面及び天井面の形状がわかる程度のものとし、構造部材(梁、基礎等)、見え掛かりの開口部、階段等(室の対向に見えるもの)については、記入しなくてよい。ウ. 建築物の最高の高さ、軒高、階高、天井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名等を記入する。   | 安永凶書                         |                                    | L        |
|--|------------------------------|------------------------------------|----------|
| <ul> <li>1. 図面は規約率性に加上する。 会別、各果版的 1目程は、155mm 部分評劃図 (所面) にあっては、10mm である。</li> <li>2. シクナハク対策のための機械換気設備等は、記入しなくてよいものとする。</li> <li>要求 図 含 (1/100)</li> <li>2. 関西 (1/100)</li> <li>2. 関西 (1/100)</li> <li>2. 関西 (1/100)</li> <li>4. 国</li></ul>  |                              |                                    | H        |
| (3) 2 降 平 所図   | b. 図面は黒鉛                     | 等仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。              | ⊩        |
| (4) シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてよいものとする。 要求 図 西 (1) 1 階平面図  |                              |                                    | H        |
| (1 ) 内容 中面 図   |                              |                                    |          |
| 7  |                              | 特 記 事 項                            | L        |
| 世  | , , ,                        |                                    | H        |
| (1/100)  | 兼                            | :                                  | Н        |
| (2) 2  |                              | ・室名等                               | Г        |
| (1/100)   同じ。 新面図の即断位図及び方向   |                              |                                    | L        |
| (3) 2 階 床伏図  |                              | 同じ)。                               | L        |
| - 整態地な界線と建築物との予解   | (1/100)                      | 1                                  | H        |
| 道路から建築物へのアプローチ、門、縣 建設等   通路から敷地及が建築物への別人口には、▲印を付ける。   デッキテラスには、底径15m以上の円(被線にて明記する。)、手 すり   楽園には、楽園の範囲及び底径25m以上の円(をれぞれ破線にて明記する。)、集い場   部か音線園(断面)の切断位度及び方向   九間スペース・一直径30m以上の円(破線にて明記する。)、テーブ ル・ 椅子、3ニキッチン、3関語がには下足入れ・   房間   食事室・台所・ホーナル、 椅子、1ニキッチン   3関語がには下足入れ・   房間   食事室・台所・ホーナル、 椅子、1ニュー・の株   台所   で見たい器   流面放玄室(1)・・・洗面白、洗湿機   光光・   海理か・コレロ合、   後継特別   で見たい器   流面放玄室(1)・・・洗面白、洗湿機  |                              |                                    | Г        |
| ・デッキテラスには、直径1.5m以上の円(破線にて明記する。)、手 すり ・素園には、素園の範囲及び直径2.5m以上の円(それぞれ破線にて 明記する。)、珠い鍋 ・部分詳細図  |                              | ・道路から建築物へのアプローチ、門、塀、植栽等            | L        |
| ・  |                              |                                    | L        |
| 明記する。)、洗い場。 ・部分学和図(附面)の切断位置及び方向 ・土間スペース、デッキテラス及び居間・食事室・台所の床の地盤 面からの高さ ・土間スペース、直径30m以上の円(破線にて明記する。)、テープ ル 梅子、ミキッチン、支関部分には下足れた ・居間・食事室・台所・テーブル、カイ・フト・の札・台所 証債整際(流し台・調理台・コンロ台、冷 変典等)、変型・カーの作業台 ・洗面配衣室(1)・・洗面形、洗濯機 ・浴室・・浴種(1) ウ・2 階平面図には、次のものを記入する。 ・1 階の屋根状図(平家部分がある場合) ・夫婦室・・ベッド ・子ども室・・ベッド ・子ども室・・ベッド ・ 子ども変・・ベッド ・ 子ども変・・ベッド ・ 子とも変・・ベッド ・ 子とも変・・ベッド ・ 子とも変・・ 大規の表示記号にしたがって記入しなくてよい。   |                              | すり                                 | H        |
| ・部分評細図(断面)の則断位度及び方向<br>・上間スペース、アキテラス及び居間・食事室・台所の味の地盤<br>面からの高さ<br>・土間スペース、一直径30m以上の円(破線にて明記する。)、テープ<br>ル 椅子、ミニキッチン、玄関部分には下足入れ<br>・居間・食事室・台所・アーブル、椅子 P C コーナーの机、台所<br>設庫等)、家事コーナーの作業台<br>・使所(1)・一洋式便路・洗油機<br>・洗面配衣室(1)・一洗面台、洗濯機<br>・浴室・一浴槽(1)<br>ウ 2 階平面関には、次のものを記入する。<br>・上頭窓・ベッド<br>・伊所(2)・一浴補僧<br>・大型窓・ベッド<br>・伊原(2)・一浴補僧<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100)<br>(1/100) |                              |                                    | Г        |
|  |                              | ・部分詳細図(断面)の切断位置及び方向                |          |
| ・土間スペース・直径30m以上の円破総にて明記する。)、テーブル、椅子、ミニキッチン、女関部分には下足入れ・居間・食事室・台所・デーブル、椅子、P C コーナーの机、台所設庫等が、家事コーナーの作業台・使所(1)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・   |                              |                                    | L        |
| ・居間・食事家・合所・テーブル、椅子、PCコーナーの机、合所 設備機等)、家事コーナーの作業台 ・ 後期で、家事コーナーの作業台 ・ 後期で、家事コーナーの作業台 ・ 後期で、家事コーナーの作業台 ・ 洗面配衣室(1)・・・・洗面も、洗濯機 ・ 浴室・・・浴値(1) ウ ・ 2 階平面図には、次のものを記入する。  |                              | ・土間スペース…直径3.0m以上の円(破線にて明記する。)、テーブ  | $\vdash$ |
| 護職等》。家事コーナーの作業台 ・使所(1)…洋式便器、手洗い器 ・流面脱衣窓(1)…洗面台、洗灌機 ・溶金・溶槽(1) ウ・2 階平面図には、次のものを記入する。 ・ 1 階の屋根皮図(平家部分がある場合) ・夫婦室・ベッド ・ 例所(2)…洋式便器 ・洗面放衣室(2)…洗面台、洗濯機 ・溶金(2)…溶槽 ・ 一を繋、火打梁、棟木、母屋、小屋束など必要なものについては、人例の表示記号にしたがって記入し、断面寸法(小屋乗を除く。) を見、例構に記しする。ただし、主要部材のもりに、標本用面材による床組とする場合には、脚差、床梁、桁を記入したうえで構造用合板の厚さ、到の種様で図において、火打梁の代わりに、標本用面材による床組とする場合には、脚差、床梁、桁を記入したうえで構造用合板の厚さ、到の種類・1付け間隔を引置する。 ・ 生薬等物の主要なす法を記入する。  |                              |                                    |          |
| ・使所(1)…洋式便器、手洗い器   洗面脱衣室(1)…洗面台、洗濯機   洗面脱衣室(1)…洗面台、洗濯機   冷窓…冷槽(1)   ウ. 2 陽平面図には、次のものを記入する。   ・1 階の屋根伏図(平家部分がある場合)   ・夫婦室…ペッド   ・ で で で で で で で で で で で で で で で で で で   |                              | 設備機器(流し台・調理台・コンロ台、冷                |          |
| - 洗面脱衣客(1)…洗面台、洗濯機 - 治室・・治槽(1) ウ・2 階平面図には、次のものを記入する。 ・ 1 階の屋根伏図(平家部分がある場合) ・ 夫婦室・・ベッド ・ 子とも室・・ベッド ・ 伊所(2)…洋式便器 ・ 洗面脱衣窓(2)・・洗面台、洗濯機 ・ 治室(2)・・治面台、洗濯機 ・ 治室(2)・・治面台、洗濯機 ・ 治室(2)・・治面台、洗濯機 ・ 治室(2)・・治面台、洗濯機 ・ 治室(2)・・治菌 (1/100)  7 ・ 主要部材(通し柱、1 階及び2 階の管柱、胴差、2 階床楽、析、   |                              |                                    | $\vdash$ |
|  |                              | ・洗面脱衣室(1)…洗面台、洗濯機                  | $\vdash$ |
| - 1階の屋根伏図(平家部分がある場合) - 夫婦室・・ベッド - 子ども室・・ベッド - 伊所(2)・・洋式便器 - 洗面脱衣室(2)・・洗面合、洗濯機 - 浴室(2)・・浴槽 - ア・主要部材(通し柱、1階及び2階の管柱、胴差、2階床梁、桁、小屋葉火、灯葉、棟木、母屋、小屋東など必要なもの)については、1階小屋伏図 (1/100) - (1  |                              |                                    | Г        |
| ・夫婦室・ベッド   |                              |                                    | L        |
| ・便所(2)・・洋式便器   |                              | ・夫婦室…ベッド                           | ⊩        |
| (3) 2 階床伏図   |                              |                                    | ⊢        |
| # 1 下 2 要部材(通し柱、1 下及び 2 下の管柱、胴差、2 下床梁、桁、小屋梁、火打梁、棟木、母屋、小屋東など必要なもの)については、凡例の表示記号にしたがって記入し、断面寸法(小屋東を除る。) たんり網に記入する。なお、根太及び垂木については、記入しなくてよい。 イ 2 下除床図において、火打架の代わらに、構造用面材による床組とする場合には、胴差、床梁、桁を記入したうえで構造用合板の厚さ、釘の種類・打付け間隔を明記する。 ウ その他必要にむて用いた表示記号は、凡例欄に明記する。 ウ その他必要にむて用いた表示記号は、凡例欄に明記する。 ウ その他必要にむて用いた表示記号は、凡例欄に明記する。 ウ その他必要にむて用いた表示記号は、凡例欄に明記する。 ウ ぞッキチラスについては、外観で見える場合に記入する。 ウ デッキチラスについては、外観で見える場合に記入する。 ウ デッキチラスについては、記入しなくてよい。 連築物の最高の高さを記入する。 ウ 建築物の外形、床面及び天井面の形状がわかる程度の対向に見えるもの)については、記入しなくてよい。 ウ 建築物の最高の高さ、軒高、下高、下井高、1 階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名等を記入する。 ク ・ 作図の範囲は、基礎及び床の部分(床の仕上面からの高さ200mm以上と)とし、外壁の柱心から1,000m以上とする。 エ 主要部がは基礎、土合、大引、1 下橋太など必要なもの)の名称・断面寸法を記入する。 オ 床下換気口(又は、これに代わるもの)の位置・名称を記入する。 カ アンカーボルト等の名称・寸法を記入する。 カ アンカーボルト等の名称・す法を記入する。 カ アンカーボルト等の名称・京の性上材料名を記入する。 ク ・ 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ク ・ 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ク ・ 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ク ・ 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下地材料名を記入する。 ク ・ 対部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 ウ ・ 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下地材料名を記入する。 ウ ・ 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下地材料名を記入する。 ウ ・ 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下地材料名を記入する。 ウ ・ 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下地材料名を記入する。 ウ ・ 計算結果は、小数の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 ウ ・ 計算結果は、小数の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。  |                              | ·洗面脱衣室(2)…洗面台、洗濯機                  |          |
| # 1 階小屋伏図 (1/100)  |                              | <u></u>                            | L        |
| (1/100) を凡例欄に記入する。ただし、主要部材のうち、平角材又は丸太材としたものについては、その断面寸法を図面上に記入する。なお、根太及び垂木については、その断面寸法を図面上に記入する。なお、根太及び垂木については、記入しなくてよい。 (1 2 階床代図において、火打梁の代わりに、構造用面材による床組とする場合には、胴差、床梁、桁を記入したうえで構造用合板の厚き、釘の種類・打付け間隔を明記する。 ウ・その他必要に応じて用いた表示記号は、凡例欄に明記する。エ、建築物の主要な寸法を記入する。 ア・南側立面図とする。 (1/100) イ。建築物の最高の高さを記入する。ウ・デッキテラスについては、外観で見える場合に記入する。 (1/100) イ。建築物の外形、床面及び天井面の形状がわかる程度のものとし、構造部材(梁、基礎等)、見え掛かりの開口部、階段等(室の対向に見えるもの)については、記入しなくてよい。ウ・建築物の最高の高さ、軒高、附高、天井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名等を記入する。イ・作図の範囲は、基礎及び床の部分(床の仕上面からの高さ200mm以上)とし、外壁の柱心から1,000mm以上とする。ウ・主要部が大法等を記入する。エ、主要部が大法等を記入する。エ、主要部が大法等を記入する。オ、床下換気口(又は、これに代わるもの)の位置・名称を記入する。カ、アンカーボルト等の名称・寸法を記入する。カ、アンカーボルト等の名称・寸法を記入する。カ、アンカーボルト等の名称・寸法を記入する。カ、定数計置を記入する。ク・建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。ク・建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。イ・建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。カーがは出ていては、計算式も記入する。カーがは出ていては、計算式も記入する。カーがは出ていては、計算式も記入する。カーがは出ていては、計算式も記入する。カーがは出ていて、計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。ウ・計算結果は、小数点以下第2位までよりが表していて、計算結果は、小数点以下第2位までよりが表していて、計算結果は、小数点以下第2位までよりが表していて、対域が表していて、対域が表していて、対域が表していて、対域が表していて、対域が表していて、対域が表していて、対域が表していて、対域が表していて、対域が表していては、計算式も記入する。カーがは出ていて、対域が表していていて、対域が表していて、対域が表していて、対域が表していて、対域が表していていて、対域が表していていて、対域が表していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい  |                              |                                    | H        |
| 材としたものについては、その断面寸法を図面上に記入する。なお、根太及び垂木については、記入しなくてよい。   |                              |                                    | Н        |
|  | (1/100)                      |                                    | L        |
| とする場合には、胴差、床梁、桁を記入したうえで構造用合板の厚さ、釘の種類・打付け間隔を明記する。 ウ. その他必要に応じて用いた表示記号は、凡例欄に明記する。 生 建築物の主要な寸法を記入する。 イ. 建築物の最高の高さを記入する。 ウ. デッキテラスについては、外観で見える場合に記入する。 ウ. デッキテラスについては、外観で見える場合に記入する。 イ. 建築物の外形、床面及び天井面の形状がわかる程度のものとし、構造部材(梁、基礎等)、見え掛かりの開口部、階段等(室の対向に見えるもの)については、記入しなくてよい。 ウ. 建築物の外形、床面及び天井面の形状がわかる程度のものとし、構造部材(梁、基礎等)、見え掛かりの開口部、階段等(室の対向に見えるもの)については、記入しなくてよい。 ウ. 建築物の外形、床面及び天井面の形状がわかる程度のものとし、構造部材(選、基礎及び天力を高、大井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な空名等を記入する。 イ. 作図の範囲は、基礎及び床の部分(床の仕上面からの高さ200mm以上)とし、外壁の柱心から1,000mm以上とする。 カ. 主要部材(基礎、土台、大引、1階根太など必要なもの)の名称・断面寸法を記入する。 オ. 床下換気口(又は、これに代わるもの)の位置・名称を記入する。カ. アンカーボルト等の名称・寸法を記入する。カ. アンカーボルト等の名称・寸法を記入する。カ. アンカーボルト等の名称・寸法を記入する。カ. アンカーボルト等の名称・可法を記入する。カ. 子気に接する部分(外壁、床、その他必要と思われる部分)の断熱・防湿措置を記入する。ク. 主要な部位(外壁、内壁、床)の仕上材料名を記入する。カ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。ウ. 内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 「中間スペースの計画に関する次の①~③について、具体的に記述する。 「中間スペースの計画に関する次の①~③について、具体的に記述する。  |                              |                                    | L        |
|  |                              | とする場合には、胴差、床梁、桁を記入したうえで構造用合板の      | ⊢        |
| (4)立 面 図 (1/100)   |                              |                                    | r        |
| (1/100) イ. 建築物の最高の高さを記入する。 ウ. デッキテラスについては、外観で見える場合に記入する。 ウ. デッキテラスについては、外観で見える場合に記入する。 イ. 建築物の外形、床面及び天井面の形状がわかる程度のものとし、構造部材(梁、基礎等)、見え掛かりの開口部、階段等(室の対向に見えるもの)については、記入しなくてよい。 ウ. 建築物の最高の高さ、軒高、階高、天井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名等を記入する。 ア. 切断位置は、居間・食事室・台所の外壁を含む部分とする。イ. 作図の範囲は、基礎及び床の部分(床の仕上面からの高さ200mm以上)とし、外壁の柱心から1,000mm以上とする。ウ. 主要部が(基礎、土台、大引、1階根太など必要なもの)の名称・断面寸法を記入する。オ. 床下換気口(又は、これに代わるもの)の位置・名称を記入する。カ. アンカーボルト等の名称・寸法を記入する。キ. 外気に接する部分(外壁、床、その他必要と思われる部分)の断熱・防湿措置を記入する。ク. 主要な部位(外壁、内壁、床)の仕上材料名を記入する。ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。ク. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下地材料名を記入する。ウ. 内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。ウ. 内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 ・建築物及び敷地の計画に関する次の①~③について、具体的に記述する。 ・ 建築物及び敷地の計画に関する次の①~③について、具体的に記述する。  |                              |                                    |          |
| (5)断 面 図   |                              |                                    | $\vdash$ |
| (5)断 面 図 (1/100) ア. 切断位置は、1階・2階それぞれの開口部を含む部分とする。 イ. 建築物の外形、床面及び天井面の形状がわかる程度のものとし、構造部材(梁、基礎等)、見え掛かりの開口部、階段等(室の対向に見えるもの)については、記入しなくてよい。ウ. 建築物の最高の高さ、軒高、下井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名等を記入する。 イ. 作図の範囲は、居間・食事室・台所の外壁を含む部分とする。イ. 作図の範囲は、基礎及び床の部分(床の仕上面からの高さ200mm以上)とし、外壁の柱心から1,000mm以上とする。ウ. 主要部が(基礎、土台、大引、1階根太など必要なもの)の名称・断面寸法を記入する。オ. 床下換気口(又は、これに代わるもの)の位置・名称を記入する。カ. アンカーボルト等の名称・寸法を記入する。キ. 外気に接する部分(外壁、床、その他必要と思われる部分)の断熱・防湿措置を記入する。ク. 主要な部位(外壁、内壁、床)の仕上材料名を記入する。ク. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。ア. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。ア. 主要な屋根の勾配を記入する。イ. 外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。ウ. 内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名を記入する。ウ. 内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名を記入する。 (9計画の要点等 ・建築物及び敷地の計画に関する次の①~③について、具体的に記述する。 (1)土間スペースの計画について、丁ました占  | (1/100)                      |                                    | $\vdash$ |
| 構造部材(梁、基礎等)、見え掛かりの開口部、階段等(室の対向に見えるもの)については、記入しなくてよい。 ウ. 建築物の最高の高さ、軒高、階高、天井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名等を記入する。  7. 切断位置は、居間・食事室・台所の外壁を含む部分とする。 イ. 作図の範囲は、基礎及び床の部分(床の仕上面からの高さ200mm以上)とし、外壁の柱心から1,000mm以上とする。 ウ. 主要部が(基礎、土台、大引、1階根太など必要なもの)の名称・断面寸法を記入する。 オ. 床下換気口(又は、これに代わるもの)の位置・名称を記入する。カ. アンカーボルト等の名称・寸法を記入する。キ. 外気に接ずる部分(外壁、床、その他必要と思われる部分)の断熱・防湿措置を記入する。ク. 主要な部位(外壁、内壁、床)の仕上材料名を記入する。ク. 主要な部位(外壁、内壁、床)の仕上材料名を記入する。ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。ク. 中部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名を記入する。ウ. 内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名を記入する。  「9計画の要点等 ・建築物及び敷地の計画に関する次の①~③について、具体的に記述する。の十間スペースの計画について、丁ました占   |                              | ア. 切断位置は、1階・2階それぞれの開口部を含む部分とする。    |          |
| に見えるもの)については、記入しなくてよい。 ウ・建築物の最高の高さ、軒高、階高、天井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名等を記入する。  7. 切断位置は、居間・食事室・台所の外壁を含む部分とする。 イ・作図の範囲は、基礎及び床の部分(床の仕上面からの高さ200mm以上)とし、外壁の柱心から1,000mm以上とする。 ウ・主要部の寸法等を記入する。 エ・主要部材(基礎、土台、大引、1階根太など必要なもの)の名称・断面寸法を記入する。 オ・床下換気口(又は、これに代わるもの)の位置・名称を記入する。カ・アンカーボルト等の名称・寸法を記入する。キ・外気に接する部分(外壁、床、その他必要と思われる部分)の断熱・防湿措置を記入する。ク・主要な部位(外壁、内壁、床)の仕上材料名を記入する。ク・計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。ウ・計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。カ・ア・主要な屋根の勾配を記入する。イ・外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。ウ・内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名を記入する。ウ・内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名ので、世材料名を記入する。   | (1/100)                      |                                    |          |
| 内法寸法及び主要な室名等を記入する。   |                              | に見えるもの)については、記入しなくてよい。             | $\vdash$ |
| (1/20) イ. 作図の範囲は、基礎及び床の部分(床の仕上面からの高さ200mm以上)とし、外壁の柱心から1,000mm以上とする。 ウ. 主要部の寸法等を記入する。 エ. 主要部材(基礎、土台、大引、1階根太など必要なもの)の名称・断面寸法を記入する。 カ. アンカーボルト等の名称・寸法を記入する。 キ. 外気に接する部分(外壁、床、その他必要と思われる部分)の断熱・防湿措置を記入する。 ク. 主要な部位(外壁、内壁、床)の仕上材料名を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。 イ. 外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 ウ. 内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 ウ. 内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名を記入する。 ウ. 内部(土間スペースの計画に関する次の①~③について、具体的に記述する。 ①十間スペースの計画に関する次の①~③について、具体的に記述する。  |                              |                                    | $\vdash$ |
| 上)とし、外壁の柱心から1,000mm以上とする。 ウ. 主要部の寸法等を記入する。 エ. 主要部材(基礎、土台、大引、1階根太など必要なもの)の名称・断面寸法を記入する。 オ. 床下換気口(又は、これに代わるもの)の位置・名称を記入する。 カ. アンカーボルト等の名称・寸法を記入する。 キ. 外気に接する部分(外壁、床、その他必要と思われる部分)の断熱・防湿措置を記入する。 ク. 主要な部位(外壁、内壁、床)の仕上材料名を記入する。 イ. 建築面積及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。 ウ. 計算結果は、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 イ. 外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 ウ. 内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 ・建築物及び敷地の計画に関する次の①~③について、具体的に記述する。 ①土間スペースの計画について、丁ました占  | (6)部分詳細図(断面)                 | ア. 切断位置は、居間・食事室・台所の外壁を含む部分とする。     | 上        |
| ウ. 主要部の寸法等を記入する。           エ. 主要部材(基礎、土台、大引、1階根太など必要なもの)の名称・断面寸法を記入する。           オ. 床下換気口(又は、これに代わるもの)の位置・名称を記入する。           カ. アンカーボルト等の名称・寸法を記入する。           キ. 外気に接する部分(外壁、床、その他必要と思われる部分)の断熱・防湿措置を記入する。           ク. 主要な部位(外壁、内壁、床)の仕上材料名を記入する。           イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。           ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。           (8)仕 上 表           ア. 主要な屋根の勾配を記入する。           イ. 外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。           ウ. 内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。           (9)計画の要点等           ・建築物及び敷地の計画に関する次の①~③について、具体的に記述する。           ①十間スペースの計画について、丁夫1.た点   | (1/20)                       |                                    | L        |
| 断面寸法を記入する。 オ. 床下換気口(又は、これに代わるもの)の位置・名称を記入する。 カ. アンカーボルト等の名称・寸法を記入する。 キ. 外気に接する部分(外壁、床、その他必要と思われる部分)の断熱・防湿措置を記入する。 ク. 主要な部位(外壁、内壁、床)の仕上材料名を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。 ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。 イ. 外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 ウ. 内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 ・建築物及び敷地の計画に関する次の①~③について、具体的に記述する。 ①十間スペースの計画について、丁ました占  |                              | ウ. 主要部の寸法等を記入する。                   | $\vdash$ |
| カ. アンカーボルト等の名称・寸法を記入する。 キ. 外気に接する部分(外壁、床、その他必要と思われる部分)の断熱・ 防湿措置を記入する。 ク. 主要な部位(外壁、内壁、床)の仕上材料名を記入する。 (7)面 積 表 ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。 ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。 イ. 外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 ウ. 内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 (9)計画の要点等 ・建築物及び敷地の計画に関する次の①~③について、具体的に記述する。 ①土間スペースの計画について、丁夫した占   |                              |                                    | $\vdash$ |
| #. 外気に接する部分(外壁、床、その他必要と思われる部分)の断熱・防湿措置を記入する。   |                              |                                    |          |
| ク. 主要な部位(外壁、内壁、床)の仕上材料名を記入する。  (7)面 積 表 ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。 (8)仕 上 表 ア. 主要な屋根の勾配を記入する。 イ. 外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 ウ. 内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 (9)計画の要点等 ・建築物及び敷地の計画に関する次の①~③について、具体的に記述する。 ①土間スペースの計画について、丁夫した占  |                              | キ. 外気に接する部分(外壁、床、その他必要と思われる部分)の断熱・ |          |
| (7)面 積 表 ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。 (8)仕 上 表 ア. 主要な屋根の勾配を記入する。 イ. 外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 ウ. 内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 (9)計画の要点等 ・建築物及び敷地の計画に関する次の①~③について、具体的に記述する。 ①土間スペースの計画について、丁夫した占   |                              |                                    | $\vdash$ |
| イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。 ア. 主要な屋根の勾配を記入する。 イ. 外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 ウ. 内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 (9)計画の要点等 ・建築物及び敷地の計画に関する次の①~③について、具体的に記述する。 ①土間スペースの計画について、丁夫した占   | (7)面 積 表                     |                                    | $\vdash$ |
| (8)仕 上 表 ア. 主要な屋根の勾配を記入する。 イ. 外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 ウ. 内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。  (9)計画の要点等 ・建築物及び敷地の計画に関する次の①~③について、具体的に記述する。 ①土間スペースの計画について、丁夫した占  |                              | イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。        |          |
| イ. 外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 ウ. 内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。  (9計画の要点等 ・建築物及び敷地の計画に関する次の①~③について、具体的に記述する。 ①土間スペースの計画について、丁夫した占  | (8)仕 上 表                     |                                    | L        |
| ウ. 内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名 及び下地材料名を記入する。  (9計画の要点等 ・建築物及び敷地の計画に関する次の①~③について、具体的に記述 する。 ①土間スペースの計画について、丁夫した占  | ,.,, <u></u> <u></u> <u></u> | イ. 外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記  | $\vdash$ |
| 及び下地材料名を記入する。  (9)計画の要点等 ・建築物及び敷地の計画に関する次の①~③について、具体的に記述する。 ①土間スペースの計画について、丁夫した占   |                              | 7 + 7 = 0                          | $\vdash$ |
| する。<br>①土間スペースの計画について、丁夫した占  |                              | 及び下地材料名を記入する。                      |          |
| ①土間スペースの計画について、丁夫した占   | (9)計画の要点等                    |                                    | L        |
| ②景観を考慮して、平面計画において工夫した点<br>③菜園の配置について、工夫した点   |                              | ①土間スペースの計画について、工夫した点               |          |
|  |                              |                                    | ノストラストラ  |
|  |                              |                                    | 7        |

